

高病原性鳥インフルエンザの発生に備えた消毒の強化について

1 要旨・目的

県内における高病原性鳥インフルエンザの発生を防止するため、県は県内の100羽以上の家きん飼養農場に対し、農場消毒計画の作成及び計画に基づく消毒の実施を指導しているが、全国的に、本格的な発生時期を迎えたことから、対策の徹底のため計画の確認に加え、消石灰の無料配布を行い、発生予防対策の強化を図る。

2 実施内容

(1) 対象

県内の100羽以上の家きん飼養農場（103農場）

(2) スケジュール（県）

10月6日 農場に対し、消毒計画の策定及び消毒初回実施の通知

11月上旬 農場の消毒実施計画及び消毒初回実施の確認・指導

11月21日 消毒に必要となる農場規模に応じた数量の消石灰配布開始

なお、消石灰を受領した家きん飼養農場は、直ちに追加散布を実施

(3) 消毒方法

消石灰散布に当たっては、河川等の環境に影響を与えないとともに、消石灰を農場全体に散布し、消毒を指示した農場に消石灰が散布されていることを家畜防疫員が確認する。

(4) 予算

県費 6,330千円

3 令和5年度家きん飼養農場における発生概要（11月30日時点）

	発生都道府県	発生日	飼養羽数	飼養形態
1	佐賀県	11月25日	約4.0万羽	採卵鶏
2	茨城県	11月27日	約7.2万羽	採卵鶏
3	埼玉県	11月30日	約4.5万羽	採卵鶏

4 令和5年度野鳥における発生概要（11月29日時点）

全国41事例（疑い事例含む）

北海道21事例、鹿児島県8事例（環境飼料含む）、宮城県4事例、岡山県2事例、千葉県1事例、富山県1事例、鳥取県1事例、香川県1事例、高知県1事例、佐賀県1事例